九月十六日、牧野女子バスケ部を引退し、小学校三年生からの友達と言えるくらい一緒に過ごしてきた自分が、高校の大舞台でのポイントガードを任されるまでの成長を感じます。中学校からバスケットボールは自分の一番小中・高と比べ物にならないくらい高校のキャプテンは大変でしんどくて、けれど、柔晴らしい景色をみることが出来ました。バスケトが本当に大好きだから、どんなに辛くともバスケを辞めたいと思ったことはありません。バスケを省いた自分を想像したら怖くなるぐらいです。

牧野高校に入学して、大西先生・浦田先生・酒井先生に出会い、そして38、39、40、41、42期の先輩・同期・後輩に出会えて、本当に言葉では言い表せない素晴らしい二年間半を過ごすことが出来ました。浦田先生の牧野ディフェンスは本当にすごいもので自分達は先生の思う様なパーフェクトなディフェンスには遠せなかったけど、近畿や全国のチーム相手にも通用するディフェンスです。自慢のディフェンスができたこと、誇りに思います。酒井先生は国、る時に支えてもらい、試合中もいつも声がけしてくれて、気軽に楽しく話せて、心の支えになりました。大西先生は、いつも自分達の想像を超えていて、初めはついて行くのに必死だったけど、一番多くの時間を過ごして何百回も名前呼んでもらったり、てぃろんな話をして、先生と一緒に最高のチームを作りたい、頑張ろう。と思えてきたら知らない間に心合わせて信頼して前に進めるようになったと自分は思います。ポスターやスローガン、写真入りのプリント、ラミネートなど、どこまでもサバスのメンバーのために時間を使ってくれて、どうしても感謝の気持ちをベストの8になって返したいと思い、大会に出て、誰よりも大きい目標を達成した時は嬉しい、選手が存分に表現して、感動しました。あの時の、大きい大きいけがでした。チームメイトの笑顔はず、と忘れません。学校生活の中での一つの行動、サバスでの活動をコツコツやり続けたからこそ、一つの結果で試合は人間性の差で決まるほとんど、香里丘の試合は今でも本間に全部牧野が勝。たと自信持。て言えます。

同期はいろあったけど、残った七人で最後まで頑張れてよかったです。近畿大会初出場を実現させた代がこのメンバーで良かったと思うし、適当な事もしてしまう、五人もいるチームをまとめるのは大変だったけれど、これからの人生に絶対やり続けてやり切る！　この七人とのチームの先頭に立つからにはっぱい面もいっぱい見せてしまうけど、それを含めて良いと思えるチームでした。

近畿大会初出場を実現させた代がこのメンバーで良かったと思うし、適当な事もしてしまう、五人もいるチームをまとめるのは大変だったけれど、これからの人生に絶対やり続けてやり切る！　この七人とのチームの先頭に立つからにはっぱい面もいっぱい見せてしまうけど、それを含めて良いと思えるチームでした。

今回の試合は、一年間続いてきた自分達の集大成の試合でした。今回の試合は、一年間続いてきた自分達の集大成の試合でした。

現在も続いている牧野バスケットボール部の伝統を引き継いでいくのは大人数に埋もれず、弱気にならず、心を込めてプレーすることを読んでこれからも頑張ります。

毎試合たくさんの保護者の応援があって、先輩が成長を見に来てくれて、教頭先生のベンチからの力強い声かけがあって、校長先生も見に来てくださって、こんなに温かい応援があるのは当たり前でなく、女バスの頑張りを認めてくれているからだと思います。

十年間、背中を押し続けてくれた親には感謝しかないです。私のバスケット人生は全部宝物です。関わってくださった全ての人に、ありがとう。

40期生

三年

難バるま諦生ゝら校ス、なしこの二年半で、
本向きスゝゴゝれでのくはをわテいたた。強舞りな、必しくン年めにてた、はスゝなしこの二年半で、
気で自分たちのことを思ゝて時間を共にしてくれたから西先生だとが
あえケバミ同たも言れや後かンけいけ。め豪台にれこずてるとのず話、。ゝ違ケも悩さの二年半で、
自分たのを、闇ムいよりチなけい、た然は嬉ゝーてスゝたて」さ立てもち退ゝ元たけつ意で、
スケ一色い時ームがしが、ぱしなものな、生ちにシわ。頃まらくての続しも気にたやとに同じ半で、
拾じチ厳葉て、悔らでるにど先ゝ校で合たの決もぞし時にを、ゝ本嫌ゝを、みや同年半で、
活・時く活こてのともプてみれゝたもな周にはき出つマ一諦生ゝら校バるま難バるま諦生ゝら校バるま難
バ活・時く活こてのともプてみれゝたもな周にはき出つマ一諦生ゝら校バるま難
向きス、ゴ、れでのくはをわテいたた。強舞りな、必しくン年めにてた、はス、なしこの二年半で、
気で自分たちのことを思ゝて時間を共にしてくれたから西先生だとが
あえケバミ同たも言れや後かンけいけ。め豪台にれこずてるとのず話、。ゝ違ケも悩さの二年半で、
自分たのを、闇ムいよりチなけい、た然は嬉ゝーてスゝたて」さ立てもち退ゝ元たけつ意で、
スケ一色い時ームがしが、ぱしなものな、生ちにシわ。頃まらくての続しも気にたやとに同じ半で、
拾じチ厳葉て、悔らでるにど先ゝ校で合たの決もぞし時にを、ゝ本嫌ゝを、みや同年半で、
活・時く活こてのともプてみれゝたもな周にはき出つマ一諦生ゝら校バるま難

牧野高校女子バスケットボール部

40期生

三年

バ活・時く活こてのともプてみれゝたもな周にはき出つマ一諦生ゝら校バるま難バるま諦生ゝら校バるま難
向きス、ゴ、れでのくはをわテいたた。強舞りな、必しくン年めにてた、はス、なしこの二年半で、
気で自分たちのことを思ゝて時間を共にしてくれたから西先生だとが
あえケバミ同たも言れや後かンけいけ。め豪台にれこずてるとのず話、。ゝ違ケも悩さの二年半で、
自分たのを、闇ムいよりチなけい、た然は嬉ゝーてスゝたて」さ立てもち退ゝ元たけつ意で、
スケ一色い時ームがしが、ぱしなものな、生ちにシわ。頃まらくての続しも気にたやとに同じ半で、
拾じチ厳葉て、悔らでるにど先ゝ校で合たの決もぞし時にを、ゝ本嫌ゝを、みや同年半で、
活・時く活こてのともプてみれゝたもな周にはき出つマ一諦生ゝら校バるま難

思ゝて全活、たあ半同げのスかの幸対応大校と、思
く部かこ。のはじる涙ケ思ニせし援会が良指う。
れをしれーと、よこを〃い年だてしの変い導。
たバてか人き何うと流ト浮半と、てたわDし浦田
、入、らひは年にがせ生かを思こくび〃Fて田
全ケまのと凄、素で」活ば振うんれにてがく先
てにた人りか何晴きこがなり。なる応もでれ生
の捧次生が〃十らたのでい返辛に保援応きたは
人げのと主た年しと意き。〃いも護や援るり忙
にたスい人な後いき味た色てこ応者差によ、し
あ九テう公」。、経。が。んみと援のし来う質い
り年ー物。とい験難わ〃なるなし人入てに問中
が間ジ語牧思つをしか百人とんてがれくアをで
と。では野えかみいる日に、てくいをれドしも、
う自もま女る高んこのの支嬉山れてしたバた、
。分顔だバ、校なとは苦えしほる、て。イら自分
のの晴続入全生にか、、らかど人自も校ス一分
バ〃くでカ活もも自一れ〃あた分ら長も緒たち
ス て。のでをしし分日てた〃ちた〃先くにち
ケいこ物駆振てれたの、りたがちた生れ考の
〃ッこ語けりほなち楽と楽けいが。やたえ練
ト うでは抜返しいの」てしどるやそ教。て習
生と学終け〃いけ目〃もか、こ〃し頭酒くや
活思んわたた。ど標勝充〃終とてて先井れ試
にうだ〃日とこ、を〃実たわがる、生先て合
関。こたタきの自成てしこ〃本こいに生、に
わ青とけだ、二分し真たとて当とつもはも来
〃春をど〃、年と遂珠バしこにも、学〃て

牧野高校女子バスケットボール部

41期生

私は牧野の説明会のときに、女バスは、バスケだけでなく挨拶運動や清掃活動をしていることを知って、ますます牧野に行きたいと思いました。入部したばっかりのときは、こんな強いチームに入って活躍しないまま引退までいってしまうんじゃないかって思っていたけど、自分の負けず嫌いな性格から、この人には負けないって思ってやったり、フットワークのダッシュでは毎回一位になってやるって思って練習していました。最初は5人のうちの一人に選ばれるわけないなって思っていたけど、そうやって練習をしていたら本当に5人の中に入れて、形になってよりもっとがんばろうって思えました。牧野女バスの一年半が終わって身も心も成長できた部分はあるけど、まだまだ成長はできるし、最後まで自分に満足せずに課題を一つずつ解消していきます。

そして、私は新チームのキャプテンになりました。入部したときから2年になるまで、自分がキャプテンになって牧野女バスを引っ張っていくなんて1ミリも思っていなくて想像もしていなかったけど、選ばれたからには最後まで自覚と責任をもって務めます。今までは頼っていた側だったけど、これからは頼られる側としてチームをまとめるキャプテンとして、自分らしさも忘れずにやっていこうと思います。今はまだ分からないことだらけで不安もいっぱいだけど、来年の今頃、誰よりも達成感は持てると思って失敗を恐れずに前進します。これからはもっと周りを見ないといけないし、プレーにも役立つことだし、身につけて、自分のプレーのレベルアップにもつなげます。新チームは今までで一番苦しい状態のスタートって言われたけど、2年前のスタート状況と同じで、大阪でベスト8に入ったら近畿に行けるっていうチャンスも与えてくれているから、そのチャンスを掴めるように一人一人が本気になって自分の今すべきことを常に考えて自分の行動に○か×をつけて行動しないといけないし、もちろんバスケだけでがんばっていても報われないことだから、日常生活からもしっかりして自分から率先して行動を起こしていきます。今年は大きな地震も経験して、こうやって体育館を使ってバスケができていることは決してあたり前でないことがよく分かったから、今バスケできる環境があることと、らの環境を与えてくれている先生に感謝の気持ちを忘れることなく練習一つ無駄にすることなく意思を持ってプレーします。クラブ、勉強、日常生活どれも欠けることなく誇れる高校生であると言い切れるように、残り一年の高校バスケ突っ走ります。

牧野高校女子バスケットボール部

42期生

私は中学生の頃に何度か練習会に参加したとき、毎回楽しくて牧野高校に行きたいと思っていました。でも、私は勉強が苦手でテストの点数もあまり良くなくて違う高校を選ぶことを考えたりもしていました。そんな時に大西先生に一緒に高校でバスケをしようと声をかけて頂いて、ミニバスのコーチであった森本コーチや中学一、二年生のとき楠葉中の顧問であった眞田先生から連絡が来て頑張れと応援して下さりました。そして、クイーンカップを見に行き、三年生の峯を見て、牧野高校に行ける様に頑張ろうと決心しました。それから約半年間ボールに全く触れず、毎日必死に勉強し合格することができました。私は同学年に五人以上いるということが初めてで、ずっとポジションは関係なくオールラウンダーとしてバスケをしていたので高校に入ってから環境が変わり、正直始めは戸惑いがありました。春休みから練習に参加して、ミニバスのときから知っていた莉沙と空、中学の頃対戦相手がいてワクワクしていました。でも、始めはなかなか体力が戻らず、ディフェンスもマンツーマンが頭から離れず、高校生活も慣れてなくて不安だらけでした。今は少しずつ慣れているけど、まだまだディフェンスはできていないので残り少ない浦田先生との練習期間を大事にして絶対完壁に近づけることができるよう努力していきます。

私はインターミユーウルカップぐらいから試合に出る時間が増えて、迷惑をかけてしまうことも多くてどうプレーしたらいいのかと思ってしまうことがありました。でも、コート内ではディフェンスの声かけをして下さったり、分からないことがあれば分かりやすく丁寧に教えて下さったり、三年生は本当に頼もしくて、私もそんな風になりたいと思いました。三年生の先輩にとって最後の大会でユニフォームをもらって全試合出場することができて嬉しかったけど、三年生が引退してしまったことは悲しいです。でも、この半年間、教えて頂いたことや先輩方のプレーを見て学んだことはたくさんあるので無駄にすることなくこれからの自分の力にします。

新チームになり、まだどのポジションをするか確定はしていないし、フォーメーションも全てのポジションを完壁にできていないので、しっかりできるように努力し、ワンハンドシュートもマスターできるようになります。バスケだけでなく、勉強や挨拶運動、清掃活動などもしっかり行なって人としても成長し、誰からにでも応援される選手、チームになり、大阪ベスト8、近畿大会出場、そして一勝という目標を常にもってこれからも全力で頑張ります。